

<資料> ツアーの見所紹介

●千葉県立関宿城博物館

平成7(1995)年11月に県立博物館として開館した。明治初期に廃却された関宿城の天守閣(御三階櫓)は、江戸城の富士見櫓を模したと伝えられていることから、当博物館の3層4階の模擬天守閣は、富士見櫓を参考に建てられている。

●實相寺

神亀元(727)年に行基により現茨城県古河市に創建され、後に日蓮宗に改められたお寺。長禄元(1457)年梁田氏が関宿城に入城した時、関宿の地に移された古刹。関宿藩主であった久世家の歴代藩主と奥方の位牌が安置されている。鈴木貫太郎翁夫妻の墓もある。

●鈴木貫太郎記念館

終戦時の内閣総理大臣として戦争終結に果たした功績を広く紹介するために昭和38(1963)年に建設された。台風の被害で、現在見学できるのは映像資料と周辺史跡のみ。今回のツアーでは、教育委員会生涯学習課の学芸員が解説を行う予定。

●関根名人記念館

関根金次郎13世名人は、関宿で生まれ、近代将棋の父と呼ばれた。宿敵だった坂田三吉との対局は有名である。平成16年4月1日に、いちいのホール5階に開館した施設で、愛用の将棋盤など名人ゆかりの品々を展示している。いちいのホール近くに、墓と記念碑もある。

●こうのとりの里

野田市の「自然と共生する地域づくり」のモデル地区「江川地区」にあり、飼育しているコウノトリの見学、コウノトリに関する展示を行っている。平成24(2012)年からコウノトリの飼育を開始して以降、毎年ヒナが誕生し、放鳥が行われている。今回のツアーでは、飼育員による解説を予定。

●東京理科大学なるほど科学体験館

建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を発信し、地域から喜ばれる特色ある社会貢献を果たすこと目的として令和元(2019)年に開館した。体験型の展示により、科学技術の原理や本質を体験的に実感できる。

●普門寺

下三ヶ尾にある曹洞宗のお寺で開山は寛永元(1624)年とされている。釈迦が入滅の時の光景を描いた「絹本着色釈迦涅槃図」(県指定有形文化財で今回特別に公開)や「閻魔大王像」(市指定有形文化財)が所蔵されている。